

2 歳児 探究テーマ： 水 氷を観察・触れる

◆子どもの姿

- ・水遊びを好みよく遊んでいる。
- ・水に触れて「冷たい」「気持ちいい」など感触を言葉で表現する姿が見られる。

◆「問い」を考える

- ・触れると「どんな感触？」
- ・水に入れるなどした時「どうなるかな？」
- ・「どうしてこうなった？」

◆活動をデザインする

- ・氷に触れる、水に入れる、陽に当てる、比べるなどして氷をじっくり観察する。
- ・氷の感触、変化していく様子などに気づき、興味を持つ。
- ・言葉でも表現できるようになってほしい。

◆環境をデザインする

- ・プールの活動の中で行う。
- ・様々な形や大きさの氷をたくさん用意し、それぞれがじっくりと触れたり観察できるようにする。

◆小グループを構成する

- ・2歳児： 6人
- ・友達の真似をしたり自分なりの気づきを言葉で発信する。

◆準備するもの

- ・水
- ・氷（大きいもの、小さい物、形が違うもの）
- ・たらい
- ・ペットボトル、バケツ、カップなどの入れ物

◆振り返り

- ・保育の中で氷を使って遊ぶ機会があまりなかったのでとても興味を示していた。
- ・触りたい気持ちはあるようだが冷たくて中々持っていられない様子がありたらいやバケツに入れると触れたり水を入れてかき回したりと夢中で氷に触れる姿があった。「冷たい」「大きい」溶けると「小っちゃくなっちゃった」など前回よりも思ったことを言葉にすることが増えている。
- ・保育者の問いに答えるのにまだ難しい部分があったり活動に夢中になって言葉が出ない姿も見られた。

保育者のアクション	子どもの声・行動
- 氷をたらいに用意する。 【丸（大・小）・四角（長い・小）】 「大きい氷もあるよ！」 - バケツに水を汲んで置いておく 「水を入れてみよう。どうなるかな？」 「どうして小さくなった？」 - たらいの氷水に 「触ってみて」「足入れてみよう」 「冷たい！！」すぐに出てしまう。	- 色々な大きさ、形の氷に興味を示して手を伸ばす。 - 冷たくてすぐに手放してしまう姿が多かった。 「冷たい！」  - 大きな氷を持って不思議そうに見つめる。 「プールに入れてみよう」   - 氷の入ったたらいに水を入れてみる。 小さい氷はあっという間に小さくなってしまふ。 その様子を見て 「小っちゃくなっちゃった！」 保育者の問いには答えず氷を見つめている。 - 氷が転がる様子をじっと見ている   - 水を流して氷を転がす。 - たらいの氷水に入り冷たさを感じる → その後プールに入る   プールの水が温かく感じ、感覚の違いに気づいてじっと動きを止めて味わっている。